２０２５／３／１４

日港労連・港荷労協25春闘
速報第2号

（発行元）　日本港湾労働組合連合会　書記局・港湾荷役事業関係労働組合協議会　事務局
住所　144 - 0052　東京都大田区蒲田５－１０－２日港福会館３階　電話０３-３７３２-５５０３
ホームページ　http://nikkororen.jp/　（発行人）古澤　隼実

3/13　第２回港荷交渉、「交渉の促進」
「産別行動との足並みを揃えるべく」
「行動自由留保」を通告！！

１．第２回港荷交渉を３月１３日 11:00 より神戸ポートオアシス５階大会議室に於いて開催した。

冒頭、港荷労協より港荷経協に対し、争議三権委譲通知を行った。

２．続いて業側より 25 春闘要求書を受け、我々としても早急に日港協に対し「昨年同様の連名文書を本年も発出する要請」を行った。賃金に対する回答はもう少し時間が欲しいとの回答を受けた。

また６５歳定年延長実施期日については「２０２５年４月１日より実施する」との回答が示された。次回の交渉時に締結をすることを宣言された。

３．これを受けて、竹内議長より本年の中央団交は特に地方港の賃上げに力点をおいている。産別全体での賃金底上げを大命題としている。３月１１日開催の第２回中央団交において、前進ある回答から程遠いことから産別では「行動の自由を留保する」を通告している事を伝えた。

そして産別交渉との足並みを揃えるべく、港荷労使においても「行動の自由を留保する」表明を港荷経協に対して表明を行った。加えて、３月２５日の回答の如何によっては「重大な決断をせざるを得ない」旨を表明された。

４．次回、第１回港荷労使団交（通算３回目）を３月２５日（火）中央団交終了後より東京芝浦サービスセンターにて開催することを確認し、第２回港荷労使交渉を終了した。

以　上